

令和7年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 富山県)(地区名: 殿町東部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・ 農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・ 地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・ 当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・ 当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・ 当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・ 事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和7年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))
(都道府県名: 富山県)(地区名: 殿町東部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	—	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮		○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,655	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	95.7	A
			①担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg	1,170	A
			②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	割	6	
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	1,950.0	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	1,950.0	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0	A
			②作付率の増加ポイント	%	17.6	
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,572	A
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組	—	○	A
			②地域活性化に係る話し合い		○	
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮		a	A
			②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組	—	a	
			③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況		a	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — b a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	○	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	94.7	A

殿町東部地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,605,052
当該事業による費用	②	1,231,684
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	373,368
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	50年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,917,166
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.19

(2) 総費用の総括

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝ ①＋②＋③ ＋④－⑤
当 該 事 業	区画整理	0	1,231,684	－	219,749	92,334	1,359,099
	計	0	1,231,684	－	219,749	92,334	1,359,099
そ の 他	頭首工	0	－	－	29,502	787	28,715
	用水路	0	－	－	261,772	44,534	217,238
	計	0	－	－	291,274	45,321	245,953
合 計		0	1,231,684	－	511,023	137,655	1,605,052

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		23, 845	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		80, 259	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 299	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果			
農業労働環境改善効果		1, 709	区画整理を実施したことにより、営農に係る労働が質的（労働強度の改善、精神的疲労の改善）に改善される効果
多面的機能の発揮に関する効果			
景観・環境保全効果		108	区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		4, 712	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		110, 334	

(4) 総便益額算出表－1

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引率) ^t ①	経過 年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R7	1.0000	1	20,937	2,908	0.0	0	20,937	20,937	
2	R8	1.0400	2	20,937	2,908	0.0	0	20,937	20,132	
3	R9	1.0816	3	20,937	2,908	0.0	0	20,937	19,357	
4	R10	1.1249	4	20,937	2,908	0.0	0	20,937	18,612	
5	R11	1.1699	5	20,937	2,908	15.1	439	21,376	18,272	
6	R12	1.2167	6	20,937	2,908	31.1	904	21,841	17,951	
7	R13	1.2653	7	20,937	2,908	44.2	1,285	22,222	17,563	
8	R14	1.3159	8	20,937	2,908	60.2	1,751	22,688	17,241	
9	R15	1.3686	9	20,937	2,908	75.1	2,184	23,121	16,894	
10	R16	1.4233	10	20,937	2,908	91.4	2,658	23,595	16,578	
11	R17	1.4802	11	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	16,109	
12	R18	1.5395	12	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	15,489	
13	R19	1.6010	13	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	14,894	
14	R20	1.6651	14	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	14,320	
15	R21	1.7317	15	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	13,770	
16	R22	1.8009	16	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	13,241	
17	R23	1.8730	17	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	12,731	
18	R24	1.9479	18	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	12,241	
19	R25	2.0258	19	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	11,771	
20	R26	2.1068	20	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	11,318	
21	R27	2.1911	21	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	10,883	
22	R28	2.2788	22	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	10,464	
23	R29	2.3699	23	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	10,062	
24	R30	2.4647	24	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	9,675	
25	R31	2.5633	25	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	9,302	
26	R32	2.6658	26	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	8,945	
27	R33	2.7725	27	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	8,601	
28	R34	2.8834	28	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	8,270	
29	R35	2.9987	29	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	7,952	
30	R36	3.1187	30	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	7,646	
31	R37	3.2434	31	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	7,352	
32	R38	3.3731	32	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	7,069	
33	R39	3.5081	33	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	6,797	
34	R40	3.6484	34	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	6,536	
35	R41	3.7943	35	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	6,284	
36	R42	3.9461	36	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	6,043	
37	R43	4.1039	37	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	5,810	
38	R44	4.2681	38	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	5,587	
39	R45	4.4388	39	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	5,372	
40	R46	4.6164	40	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	5,165	
41	R47	4.8010	41	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	4,967	
42	R48	4.9931	42	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	4,776	
43	R49	5.1928	43	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	4,592	
44	R50	5.4005	44	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	4,415	
45	R51	5.6165	45	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	4,246	
46	R52	5.8412	46	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	4,082	
47	R53	6.0748	47	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	3,925	
48	R54	6.3178	48	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	3,774	
49	R55	6.5705	49	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	3,629	
50	R56	6.8333	50	20,937	2,908	100.0	2,908	23,845	3,490	
合計（総便益額）									515,132	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－2

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R7	1.0000	1	△ 4,534	84,793	0.0	0	△ 4,534	△ 4,534	
2	R8	1.0400	2	△ 4,534	84,793	0.0	0	△ 4,534	△ 4,360	
3	R9	1.0816	3	△ 4,534	84,793	0.0	0	△ 4,534	△ 4,192	
4	R10	1.1249	4	△ 4,534	84,793	0.0	0	△ 4,534	△ 4,031	
5	R11	1.1699	5	△ 4,534	84,793	15.1	12,804	8,270	7,069	
6	R12	1.2167	6	△ 4,534	84,793	31.1	26,371	21,837	17,948	
7	R13	1.2653	7	△ 4,534	84,793	44.2	37,479	32,945	26,037	
8	R14	1.3159	8	△ 4,534	84,793	60.2	51,045	46,511	35,345	
9	R15	1.3686	9	△ 4,534	84,793	75.1	63,680	59,146	43,216	
10	R16	1.4233	10	△ 4,534	84,793	91.4	77,501	72,967	51,266	
11	R17	1.4802	11	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	54,222	
12	R18	1.5395	12	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	52,133	
13	R19	1.6010	13	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	50,131	
14	R20	1.6651	14	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	48,201	
15	R21	1.7317	15	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	46,347	
16	R22	1.8009	16	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	44,566	
17	R23	1.8730	17	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	42,851	
18	R24	1.9479	18	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	41,203	
19	R25	2.0258	19	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	39,618	
20	R26	2.1068	20	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	38,095	
21	R27	2.1911	21	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	36,630	
22	R28	2.2788	22	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	35,220	
23	R29	2.3699	23	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	33,866	
24	R30	2.4647	24	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	32,563	
25	R31	2.5633	25	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	31,311	
26	R32	2.6658	26	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	30,107	
27	R33	2.7725	27	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	28,948	
28	R34	2.8834	28	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	27,835	
29	R35	2.9987	29	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	26,765	
30	R36	3.1187	30	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	25,735	
31	R37	3.2434	31	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	24,745	
32	R38	3.3731	32	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	23,794	
33	R39	3.5081	33	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	22,878	
34	R40	3.6484	34	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	21,998	
35	R41	3.7943	35	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	21,153	
36	R42	3.9461	36	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	20,339	
37	R43	4.1039	37	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	19,557	
38	R44	4.2681	38	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	18,804	
39	R45	4.4388	39	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	18,081	
40	R46	4.6164	40	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	17,386	
41	R47	4.8010	41	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	16,717	
42	R48	4.9931	42	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	16,074	
43	R49	5.1928	43	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	15,456	
44	R50	5.4005	44	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	14,861	
45	R51	5.6165	45	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	14,290	
46	R52	5.8412	46	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	13,740	
47	R53	6.0748	47	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	13,212	
48	R54	6.3178	48	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	12,704	
49	R55	6.5705	49	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	12,215	
50	R56	6.8333	50	△ 4,534	84,793	100.0	84,793	80,259	11,745	
合計（総便益額）									1,279,860	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－3

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引率) ^t ①	経過 年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R7	1.0000	1	△ 455	156	0.0	0	△ 455	△ 455	
2	R8	1.0400	2	△ 455	156	0.0	0	△ 455	△ 438	
3	R9	1.0816	3	△ 455	156	0.0	0	△ 455	△ 421	
4	R10	1.1249	4	△ 455	156	0.0	0	△ 455	△ 404	
5	R11	1.1699	5	△ 455	156	15.1	24	△ 431	△ 368	
6	R12	1.2167	6	△ 455	156	31.1	49	△ 406	△ 334	
7	R13	1.2653	7	△ 455	156	44.2	69	△ 386	△ 305	
8	R14	1.3159	8	△ 455	156	60.2	94	△ 361	△ 274	
9	R15	1.3686	9	△ 455	156	75.1	117	△ 338	△ 247	
10	R16	1.4233	10	△ 455	156	91.4	143	△ 312	△ 219	
11	R17	1.4802	11	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 202	
12	R18	1.5395	12	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 194	
13	R19	1.6010	13	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 187	
14	R20	1.6651	14	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 180	
15	R21	1.7317	15	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 173	
16	R22	1.8009	16	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 166	
17	R23	1.8730	17	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 160	
18	R24	1.9479	18	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 153	
19	R25	2.0258	19	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 148	
20	R26	2.1068	20	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 142	
21	R27	2.1911	21	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 136	
22	R28	2.2788	22	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 131	
23	R29	2.3699	23	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 126	
24	R30	2.4647	24	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 121	
25	R31	2.5633	25	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 117	
26	R32	2.6658	26	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 112	
27	R33	2.7725	27	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 108	
28	R34	2.8834	28	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 104	
29	R35	2.9987	29	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 100	
30	R36	3.1187	30	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 96	
31	R37	3.2434	31	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 92	
32	R38	3.3731	32	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 89	
33	R39	3.5081	33	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 85	
34	R40	3.6484	34	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 82	
35	R41	3.7943	35	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 79	
36	R42	3.9461	36	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 76	
37	R43	4.1039	37	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 73	
38	R44	4.2681	38	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 70	
39	R45	4.4388	39	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 67	
40	R46	4.6164	40	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 65	
41	R47	4.8010	41	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 62	
42	R48	4.9931	42	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 60	
43	R49	5.1928	43	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 58	
44	R50	5.4005	44	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 55	
45	R51	5.6165	45	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 53	
46	R52	5.8412	46	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 51	
47	R53	6.0748	47	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 49	
48	R54	6.3178	48	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 47	
49	R55	6.5705	49	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 46	
50	R56	6.8333	50	△ 455	156	100.0	156	△ 299	△ 44	
合計（総便益額）									△ 7,624	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－4

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引率) ^t ①	経過 年 (t)	農業労働環境改善効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R7	1.0000	1	-	1,709	0.0	0	0	0	
2	R8	1.0400	2	-	1,709	0.0	0	0	0	
3	R9	1.0816	3	-	1,709	0.0	0	0	0	
4	R10	1.1249	4	-	1,709	0.0	0	0	0	
5	R11	1.1699	5	-	1,709	0.0	0	0	0	
6	R12	1.2167	6	-	1,709	0.0	0	0	0	
7	R13	1.2653	7	-	1,709	0.0	0	0	0	
8	R14	1.3159	8	-	1,709	0.0	0	0	0	
9	R15	1.3686	9	-	1,709	0.0	0	0	0	
10	R16	1.4233	10	-	1,709	0.0	0	0	0	
11	R17	1.4802	11	-	1,709	100.0	1,709	1,709	1,155	
12	R18	1.5395	12	-	1,709	100.0	1,709	1,709	1,110	
13	R19	1.6010	13	-	1,709	100.0	1,709	1,709	1,067	
14	R20	1.6651	14	-	1,709	100.0	1,709	1,709	1,026	
15	R21	1.7317	15	-	1,709	100.0	1,709	1,709	987	
16	R22	1.8009	16	-	1,709	100.0	1,709	1,709	949	
17	R23	1.8730	17	-	1,709	100.0	1,709	1,709	912	
18	R24	1.9479	18	-	1,709	100.0	1,709	1,709	877	
19	R25	2.0258	19	-	1,709	100.0	1,709	1,709	844	
20	R26	2.1068	20	-	1,709	100.0	1,709	1,709	811	
21	R27	2.1911	21	-	1,709	100.0	1,709	1,709	780	
22	R28	2.2788	22	-	1,709	100.0	1,709	1,709	750	
23	R29	2.3699	23	-	1,709	100.0	1,709	1,709	721	
24	R30	2.4647	24	-	1,709	100.0	1,709	1,709	693	
25	R31	2.5633	25	-	1,709	100.0	1,709	1,709	667	
26	R32	2.6658	26	-	1,709	100.0	1,709	1,709	641	
27	R33	2.7725	27	-	1,709	100.0	1,709	1,709	616	
28	R34	2.8834	28	-	1,709	100.0	1,709	1,709	593	
29	R35	2.9987	29	-	1,709	100.0	1,709	1,709	570	
30	R36	3.1187	30	-	1,709	100.0	1,709	1,709	548	
31	R37	3.2434	31	-	1,709	100.0	1,709	1,709	527	
32	R38	3.3731	32	-	1,709	100.0	1,709	1,709	507	
33	R39	3.5081	33	-	1,709	100.0	1,709	1,709	487	
34	R40	3.6484	34	-	1,709	100.0	1,709	1,709	468	
35	R41	3.7943	35	-	1,709	100.0	1,709	1,709	450	
36	R42	3.9461	36	-	1,709	100.0	1,709	1,709	433	
37	R43	4.1039	37	-	1,709	100.0	1,709	1,709	416	
38	R44	4.2681	38	-	1,709	100.0	1,709	1,709	400	
39	R45	4.4388	39	-	1,709	100.0	1,709	1,709	385	
40	R46	4.6164	40	-	1,709	100.0	1,709	1,709	370	
41	R47	4.8010	41	-	1,709	100.0	1,709	1,709	356	
42	R48	4.9931	42	-	1,709	100.0	1,709	1,709	342	
43	R49	5.1928	43	-	1,709	100.0	1,709	1,709	329	
44	R50	5.4005	44	-	1,709	100.0	1,709	1,709	316	
45	R51	5.6165	45	-	1,709	100.0	1,709	1,709	304	
46	R52	5.8412	46	-	1,709	100.0	1,709	1,709	293	
47	R53	6.0748	47	-	1,709	100.0	1,709	1,709	281	
48	R54	6.3178	48	-	1,709	100.0	1,709	1,709	271	
49	R55	6.5705	49	-	1,709	100.0	1,709	1,709	260	
50	R56	6.8333	50	-	1,709	100.0	1,709	1,709	250	
合計（総便益額）									23,762	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引率) ^t ①	経過 年 (t)	景観・環境保全効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R7	1.0000	1	-	108	0.0	0	0	0	
2	R8	1.0400	2	-	108	0.0	0	0	0	
3	R9	1.0816	3	-	108	0.0	0	0	0	
4	R10	1.1249	4	-	108	0.0	0	0	0	
5	R11	1.1699	5	-	108	0.0	0	0	0	
6	R12	1.2167	6	-	108	0.0	0	0	0	
7	R13	1.2653	7	-	108	0.0	0	0	0	
8	R14	1.3159	8	-	108	0.0	0	0	0	
9	R15	1.3686	9	-	108	0.0	0	0	0	
10	R16	1.4233	10	-	108	0.0	0	0	0	
11	R17	1.4802	11	-	108	100.0	108	108	73	
12	R18	1.5395	12	-	108	100.0	108	108	70	
13	R19	1.6010	13	-	108	100.0	108	108	67	
14	R20	1.6651	14	-	108	100.0	108	108	65	
15	R21	1.7317	15	-	108	100.0	108	108	62	
16	R22	1.8009	16	-	108	100.0	108	108	60	
17	R23	1.8730	17	-	108	100.0	108	108	58	
18	R24	1.9479	18	-	108	100.0	108	108	55	
19	R25	2.0258	19	-	108	100.0	108	108	53	
20	R26	2.1068	20	-	108	100.0	108	108	51	
21	R27	2.1911	21	-	108	100.0	108	108	49	
22	R28	2.2788	22	-	108	100.0	108	108	47	
23	R29	2.3699	23	-	108	100.0	108	108	46	
24	R30	2.4647	24	-	108	100.0	108	108	44	
25	R31	2.5633	25	-	108	100.0	108	108	42	
26	R32	2.6658	26	-	108	100.0	108	108	41	
27	R33	2.7725	27	-	108	100.0	108	108	39	
28	R34	2.8834	28	-	108	100.0	108	108	37	
29	R35	2.9987	29	-	108	100.0	108	108	36	
30	R36	3.1187	30	-	108	100.0	108	108	35	
31	R37	3.2434	31	-	108	100.0	108	108	33	
32	R38	3.3731	32	-	108	100.0	108	108	32	
33	R39	3.5081	33	-	108	100.0	108	108	31	
34	R40	3.6484	34	-	108	100.0	108	108	30	
35	R41	3.7943	35	-	108	100.0	108	108	28	
36	R42	3.9461	36	-	108	100.0	108	108	27	
37	R43	4.1039	37	-	108	100.0	108	108	26	
38	R44	4.2681	38	-	108	100.0	108	108	25	
39	R45	4.4388	39	-	108	100.0	108	108	24	
40	R46	4.6164	40	-	108	100.0	108	108	23	
41	R47	4.8010	41	-	108	100.0	108	108	22	
42	R48	4.9931	42	-	108	100.0	108	108	22	
43	R49	5.1928	43	-	108	100.0	108	108	21	
44	R50	5.4005	44	-	108	100.0	108	108	20	
45	R51	5.6165	45	-	108	100.0	108	108	19	
46	R52	5.8412	46	-	108	100.0	108	108	18	
47	R53	6.0748	47	-	108	100.0	108	108	18	
48	R54	6.3178	48	-	108	100.0	108	108	17	
49	R55	6.5705	49	-	108	100.0	108	108	16	
50	R56	6.8333	50	-	108	100.0	108	108	16	
合計（総便益額）									1,498	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－6

評価 期間	年度	割引率 (1 + 割引率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R7	1.0000	1	4,590	122	0.0	0	4,590	4,590	
2	R8	1.0400	2	4,590	122	0.0	0	4,590	4,413	
3	R9	1.0816	3	4,590	122	0.0	0	4,590	4,244	
4	R10	1.1249	4	4,590	122	0.0	0	4,590	4,080	
5	R11	1.1699	5	4,590	122	15.1	18	4,608	3,939	
6	R12	1.2167	6	4,590	122	31.1	38	4,628	3,804	
7	R13	1.2653	7	4,590	122	44.2	54	4,644	3,670	
8	R14	1.3159	8	4,590	122	60.2	73	4,663	3,544	
9	R15	1.3686	9	4,590	122	75.1	92	4,682	3,421	
10	R16	1.4233	10	4,590	122	91.4	112	4,702	3,304	
11	R17	1.4802	11	4,590	122	100.0	122	4,712	3,183	
12	R18	1.5395	12	4,590	122	100.0	122	4,712	3,061	
13	R19	1.6010	13	4,590	122	100.0	122	4,712	2,943	
14	R20	1.6651	14	4,590	122	100.0	122	4,712	2,830	
15	R21	1.7317	15	4,590	122	100.0	122	4,712	2,721	
16	R22	1.8009	16	4,590	122	100.0	122	4,712	2,616	
17	R23	1.8730	17	4,590	122	100.0	122	4,712	2,516	
18	R24	1.9479	18	4,590	122	100.0	122	4,712	2,419	
19	R25	2.0258	19	4,590	122	100.0	122	4,712	2,326	
20	R26	2.1068	20	4,590	122	100.0	122	4,712	2,237	
21	R27	2.1911	21	4,590	122	100.0	122	4,712	2,151	
22	R28	2.2788	22	4,590	122	100.0	122	4,712	2,068	
23	R29	2.3699	23	4,590	122	100.0	122	4,712	1,988	
24	R30	2.4647	24	4,590	122	100.0	122	4,712	1,912	
25	R31	2.5633	25	4,590	122	100.0	122	4,712	1,838	
26	R32	2.6658	26	4,590	122	100.0	122	4,712	1,768	
27	R33	2.7725	27	4,590	122	100.0	122	4,712	1,700	
28	R34	2.8834	28	4,590	122	100.0	122	4,712	1,634	
29	R35	2.9987	29	4,590	122	100.0	122	4,712	1,571	
30	R36	3.1187	30	4,590	122	100.0	122	4,712	1,511	
31	R37	3.2434	31	4,590	122	100.0	122	4,712	1,453	
32	R38	3.3731	32	4,590	122	100.0	122	4,712	1,397	
33	R39	3.5081	33	4,590	122	100.0	122	4,712	1,343	
34	R40	3.6484	34	4,590	122	100.0	122	4,712	1,292	
35	R41	3.7943	35	4,590	122	100.0	122	4,712	1,242	
36	R42	3.9461	36	4,590	122	100.0	122	4,712	1,194	
37	R43	4.1039	37	4,590	122	100.0	122	4,712	1,148	
38	R44	4.2681	38	4,590	122	100.0	122	4,712	1,104	
39	R45	4.4388	39	4,590	122	100.0	122	4,712	1,062	
40	R46	4.6164	40	4,590	122	100.0	122	4,712	1,021	
41	R47	4.8010	41	4,590	122	100.0	122	4,712	981	
42	R48	4.9931	42	4,590	122	100.0	122	4,712	944	
43	R49	5.1928	43	4,590	122	100.0	122	4,712	907	
44	R50	5.4005	44	4,590	122	100.0	122	4,712	873	
45	R51	5.6165	45	4,590	122	100.0	122	4,712	839	
46	R52	5.8412	46	4,590	122	100.0	122	4,712	807	
47	R53	6.0748	47	4,590	122	100.0	122	4,712	776	
48	R54	6.3178	48	4,590	122	100.0	122	4,712	746	
49	R55	6.5705	49	4,590	122	100.0	122	4,712	717	
50	R56	6.8333	50	4,590	122	100.0	122	4,712	690	
合計（総便益額）									104,538	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大豆、白ねぎ

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）
×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）
×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増 加 粗 収 益 額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年 効 果 額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稻	新設	ha	ha	ha	単収増 (水管理改良)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
		35.9	32.4	32.4		548	559	11	3.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	3.6	206	742	89	660
				△ 3.5	作付減	-	-	548	△ 19.2	-	-	-	-
	更新	35.9	35.9	35.9	単収増 (水管理改良)	230	548	318	114.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	114.2	206	23,525	89	20,937
					水稻計	-	-	-	98.6	-	20,312	-	21,597
大豆	新設	1.5	1.5	1.5	単収増 (田畑輪換)	143	164	21	0.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.3	151	45	88	40
					大豆計	-	-	-	0.3	-	45	-	40
白ねぎ	新設	0.2	4.0	3.8	作付増	-	-	985	37.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	37.4	366	13,688	16	2,190
				0.2	単収増 (田畑輪換)	985	1,133	148	0.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.3	366	110	16	18
					白ねぎ計	-	-	-	37.7	-	13,798	-	2,208
水田計	新設	37.6	37.9								10,630		2,908
	更新	35.9	35.9								23,525		20,937
新設											10,630		2,908
更新											23,525		20,937
合計											34,155		23,845

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
- 「現況作付面積」・関係町の作付実績に基づき決定した。
- 「計画作付面積」・新設整備では、県、関係町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
- 「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- ・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
- ・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 :農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 :「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、大豆、白ねぎ

○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当たり営農経費－事業ありせば単位面積当たり営農経費）
×効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①－②) ＋ (③－④)	効 発 面 ⑥	果 生 積 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稲(区画整理) (100a, 営農組合)	1, 408, 400	1, 053, 196	－	－	355, 204	18. 2	6, 465
水稲(区画整理) (50a, 営農組合)	1, 408, 400	1, 077, 376	－	－	331, 024	0. 3	99
水稲(区画整理) (100a, 認定農業者)	1, 953, 698	1, 098, 460	－	－	855, 238	8. 0	6, 842
水稲(区画整理) (50a, 認定農業者)	1, 953, 698	1, 122, 737	－	－	830, 961	0. 8	665
水稲(区画整理) (100a, 個別営農→営農組合)	9, 568, 011	1, 053, 196	－	－	8, 514, 815	3. 2	27, 247
水稲(区画整理) (50a, 個別営農→営農組合)	9, 568, 011	1, 077, 376	－	－	8, 490, 635	0. 2	1, 698
水稲(区画整理) (100a, 個別営農→認定農業者)	9, 568, 011	1, 098, 460	－	－	8, 469, 551	1. 5	12, 704
水稲(区画整理) (50a, 個別営農→認定農業者)	9, 568, 011	1, 122, 737	－	－	8, 445, 274	0. 2	1, 689
大豆(区画整理) (100a, 営農組合)	5, 036, 575	1, 118, 174	－	－	3, 918, 401	0. 9	3, 527
大豆(区画整理) (100a, 認定農業者)	9, 706, 812	348, 661	－	－	9, 358, 151	0. 4	3, 743
大豆(区画整理) (100a, 個別営農→営農組合)	11, 132, 962	1, 118, 174	－	－	10, 014, 788	0. 1	1, 001
大豆(区画整理) (100a, 個別営農→認定農業者)	11, 132, 962	348, 661	－	－	10, 784, 301	0. 1	1, 078
白ねぎ(区画整理) (100a, 営農組合)	6, 223, 897	1, 937, 990	－	－	4, 285, 907	2. 6	11, 143
白ねぎ(区画整理) (50a, 営農組合)	6, 223, 897	2, 201, 395	－	－	4, 022, 502	0. 1	402
白ねぎ(区画整理) (100a, 認定農業者)	6, 469, 331	1, 449, 045	－	－	5, 020, 286	1. 2	6, 024
白ねぎ(区画整理) (50a, 認定農業者)	6, 469, 331	1, 804, 556	－	－	4, 664, 775	0. 1	466
水稲(用水改良) 営農組合	－	－	1, 357, 367	1, 408, 400	△51, 033	19. 8	△1, 010
水稲(用水改良) 認定農業者	－	－	1, 902, 665	1, 953, 698	△51, 033	9. 5	△485
水稲(用水改良) 個別営農	－	－	9, 085, 698	9, 568, 011	△482, 313	6. 3	△3, 039
新 設							84, 793
更 新							△4, 534
合 計							80, 259

- ・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり
 - ・現況営農経費：地域の営農経費であり、富山県の農業経営指標等に基づき算定し
 - ・計画営農経費：想定される事業により増減した地域の営農経費であり、富山県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導法人を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

頭首工、用水路、排水路、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		948	792	156
更新整備		493	948	△ 455
合 計				△ 299

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 農業労働環境改善効果

○効果の考え方

事業の実施により、営農に係る労働が質的に改善（労働強度の改善、精神的疲労の軽減等）される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、受益者にWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により効果を算定した。

○対象作業

機械運転作業、水管理作業

○効果算定式

年効果額 = 労働改善に対する支払意思額 × 受益面積

○年効果額の算定

作業負荷軽減対象作業名	作業負荷軽減対象作業方法			労働改善に関するWTP (円/10a/年)		受益面積 (ha)		年効果額 (千円)	
				更新分	新設及び機能向上	更新分	新設及び機能向上	更新分	新設及び機能向上
	事業なかりせば	現況	計画	①	②	③	④	⑤= ①×③	⑥= ②×④
維持管理作業に係る機械運転作業	-	溝畔 (B=0.5m)	幅広溝畔 (B=3.0m) の設置により草刈機での作業中の事故が防止され精神的疲労が解消	-	1,200	-	39.1	-	469
水管理作業	-	手作業により行っていた水管理作業による精神的疲労の蓄積	ICT自動給水栓の設置による精神的疲労の解消	-	3,171	-	39.1	-	1,240
合計								-	1,709

- ・労働改善に関するWTP : 受益者に対するアンケート調査結果から得られた、労働改善に対する支払意思額
- ・受益面積 : 事業地区内における当該効果にかかる受益面積

（５）景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により効果を算定した。

○対象施設

環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 ＝ 一戸当たりの支払意思額※ × 受益範囲世帯数 × {C 1 / (C 1 + C 2) }
ただし、

C 1：景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C 2：景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

※過去の国営地区における算定結果を基にした計算式によりWTPを推計

○年効果額の算定

区 分	土地改良 施 設 名	CVMによる 効 果 額 ①	景観・環境 保全施設の 資本還元額 ②＝③＋④	当 該 土 地 改良事業の 資本還元額 ③	そ の 他 事 業 の 資本還元額 ④	当該土地改良事 業における効果 額 ⑤＝①×（③／②）
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	S 1 号排水路 2	108	1, 133	1, 133	－	108

（６）その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大豆、白ねぎ

○効果算定式

年効果額＝年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）
＋ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額	増加供給熱量 (千kcal)	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円）	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal）	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤＝①×③ ＋②×④
	①	②	③	④	
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	10,630	△ 40,324	49	9.9	122
更新整備	23,525	347,168	49	9.9	4,590
合計	34,155	306,844			4,712

- ・ 増加粗収益額
：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・ 単位食料生産額
当たり効果額
：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、富山県農林水産部農村整備課調べ

【便益】

- ・ 北陸農政局統計部（令和4～6年）「北陸農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、富山県農林水産部農村整備課調べ